【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年9月13日(2022.9.13)

【公開番号】特開2022-113888(P2022-113888A)
【公開日】令和4年8月4日(2022.8.4)
【年通号数】公開公報(特許)2022-142
【出願番号】特願2022-98167(P2022-98167)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/14(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0481(2022.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0482(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/14　３５０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　3/0481
Ｇ０６Ｆ　3/0482

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月5日(2022.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピュータに、
ユーザによって情報処理装置上でファイルに対する操作が行われる度に、情報処理装置の前記ユーザと、操作されたファイルと、ファイルに対する操作種別と、を対応付けて記憶部に記憶させ、
前記記憶部に記憶された情報に基づいて、一定時間毎に前記操作種別が、アクティブか非アクティブを判定し、
前記ユーザを示す第１ノードと、当該ファイルを示す第２ノードと、をエッジで結んだグラフにおいて、前記第１ノード、前記第２ノードおよび前記エッジのうち少なくとも一つを、前記アクティブと判定した回数、または、前記非アクティブと判定した回数に応じた大きさ、形状または色で表示させる
表示制御方法。
【請求項２】
前記コンピュータに、
前記第１ノード、前記第２ノードおよび前記エッジのうち少なくとも一つを、前記アクティブと判定した回数、または、前記非アクティブと判定した回数が多いほど大きな形で表示させ、前記アクティブと判定した回数、または、前記非アクティブと判定した回数が多いほど濃い色で表示させ、または、前記アクティブと判定した回数、または、前記非アクティブと判定した回数が多いほど太い線分で表示させる、請求項１に記載の表示制御方法。
【請求項３】
ユーザによって情報処理装置上でファイルに対する操作が行われる度に、情報処理装置の前記ユーザと、操作されたファイルと、ファイルに対する操作種別と、を対応付けて記憶部に記憶させ、
前記記憶部に記憶された情報に基づいて、一定時間毎に前記操作種別が、アクティブか非

アクティブを判定し、
前記ユーザを示す第１ノードと、ファイルを示す第２ノードと、を、エッジで結んだグラフにおいて、前記第１ノード、前記第２ノードおよび前記エッジのうち少なくとも一つを、前記アクティブと判定した回数、または、前記非アクティブと判定した回数に応じた大きさ、形状または色で表示させる
　手順を含む処理を、コンピュータに実行させる表示制御プログラム。
【請求項４】
ユーザによって情報処理装置上でファイルに対する操作が行われる度に、情報処理装置の前記ユーザと、操作されたファイルと、ファイルに対する操作種別と、を対応付けて記憶する記憶部と、
前記記憶部に記憶された情報に基づいて、一定時間毎に前記操作種別が、アクティブか非アクティブを判定し、当該ユーザを示す第１ノードと、ファイルを示す第２ノードと、を、エッジで結んだグラフにおいて、前記第１ノード、前記第２ノードおよび前記エッジのうち少なくとも一つを、前記アクティブと判定した回数、または、前記非アクティブと判定した回数に応じた大きさ、形状または色で、表示部に表示させる制御部と、
　を備える表示制御装置。